

外出自粛期間中における大学生の感じ方・過ごし方についての調査

A18CB068

8月4日

【問題・目的】

新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発令され、5月25日には解除となったものの本学においては前期の間、原則遠隔授業となった。よって今回の調査では、このような現状を踏まえ、本学の大学生の過ごし方について調査し、まとめ、公表することで、大学生自身が現状を客観的に捉えることを目的としている。また、web アンケートの使い方や、アンケートの回答のまとめ方について、卒論の為にも習得しておくことも目的とする。

【方法】

日時 2020年6月10日～6月17日

被調査者 椋山女学園大学に通っている女学生43名(平均年齢20.3歳,SD=0.79)

調査内容 15個の質問のうち9個(1-2/2-1/2-2/2-3/2-4/2-5/4-1/4-3/5-1)は選択式、6個(1-1/3-1/3-2/4-2/4-3/5-2)は自由記述式で行った。選択式の質問は4～5項目の中から1つ選択する形式で行った。質問項目は以下の通りである。

「1-1. あなたの年齢(半角数字のみ記入)」 「1-2. あなたの学年」

<外出自粛生活全般についてお答えください。>

「2-1. パソコン・タブレット・スマートフォンを一日につき、おおよそどの程度使用していますか。ただし、遠隔授業で使用する時間は除く。」

「2-2. 2-1のうち、パソコン・タブレット・スマートフォンを用いたゲームを、一日につきおおよそ何時間していますか。」

「2-3. おおよそ週に何回メイクをしていますか。」

「2-4. 現在の生活リズムは、外出自粛前に比べてどうなりましたか。」

「2-5. 体重は、外出自粛前に比べてどうなりましたか。」

「3-1. 外出自粛生活において、つらかった(つらい)こと、困った(困っている)ことを教えてください。(自由記述)」

「3-2. 外出自粛生活において、よかったこと、楽しみなこと、新たに始めたこと、今後に生かせそうなこと、工夫などを教えてください。(自由記述)」

<新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化に伴う、あなた自身の感じ方について>

「4-1. 日本で感染拡大が報道され始めた時期(2020年2月頃)から緊急事態宣

言が全国で解除された時期（5月25日）までの生活を想起してください。その時期、あなたが「不安を感じる程度」は、それ以前と比べて、どうなりましたか。」

「4-2. 4-1 の回答（日本で感染拡大が報道され始めてから、緊急事態宣言が全国で解除されるまでの生活で「不安を感じる程度」）について、その時の感じ方・過ごし方を教えてください。（自由記述）」

「4-3. 緊急事態宣言が全国で解除された時期（5月25日）から現在までの生活において、あなたが「不安を感じる程度」は、それまでと比べて、どうなりましたか。」

「4-4. 4-3 の回答（緊急事態宣言が全国で解除された時期から現在までの生活で「不安を感じる程度」）について、その時の感じ方・過ごし方を教えてください。（自由記述）」

「5-1. 日本で感染拡大が報道され始めた時期から現在までの間で、あなたが「自粛をしている程度」は、ニュース・周りの意見を参考にすると、自分ではどの程度だと思えますか。」

「5-2. 5-1 と回答した理由について、どのように過ごしていたか（過ごしているか）を教えてください。（自由記述）」

この尺度は水曜 2 限ケースⅡを履修している 14 名で Google Form や Meet を使用して話し合い、今回の調査の為に、新たに作成したものである。

手続き 本調査は Web アンケート上で実施した為、6月7日～6月17日の一週間の間に個人のタイミングでアンケートを回答してもらった。

倫理的配慮 この調査は、回答者の自由意思であり、同意が得られなくても不利益を受けることはないようにした。また、調査フォームは無記名で記載して貰い、個人が特定されることはないようにした。さらに記入して貰ったフォームは、今回の調査目的以外には使用せず、匿名性の確保に十分注意して扱った。

【 結果 】

『2-1. パソコン・タブレット・スマートフォンを一日につき、おおよそどの程度使用していますか。ただし、遠隔授業で使用する時間は除く。』に対する回答は、「2時間未満」が 0 人(0%)、「2時間以上 3時間未満」が 5 人(11.4%)、「3時間以上 4時間未満」が 11 人(27.3%)、「4時間以上 5時間未満」が 6 人(15.9%)、「5時間以上」が 20 人(45.5%)となった。また平均は 4.0、SD は 1.10 となった(表 1)。

『2-2. 2-1 のうち、パソコン・タブレット・スマートフォンを用いたゲームを、一日につきおおよそ何時間していますか。』に対する回答は、「2時間未満」が 32 人(77.3%)、「2時間以上 3時間未満」が 0 人(0%)、「3時間以上 4時間未満」が 3 人(6.8%)、「4時間以上 5時間未満」が 4 人(9.1%)、「5時間以上」が 3 人(6.8%)となった。また平均は 1.71、SD は 1.33

となった(表 2)。

『2-3. おおよそ週に何回メイクをしていますか。』に対する回答は、「ほぼしていない」が 9 人(20%)、「おおよそ週 1~2 日」が 14 人(33.3%)、「おおよそ週 3~4 日」が 5 人(33.3%)、「おおよそ週 5~6 日」が 3 人(6.7%)、「ほぼ毎日している」が 2 人(6.7%)となった(表 3)。

『2-4. 現在の生活リズムは、外出自粛前に比べてどうなりましたか。』に対する回答は、「かなり不規則になった」が 12 人(26.7%)、「やや不規則になった」が 20 人(46.7%)、「変わらない」が 8 人(17.8%)、「やや規則正しくなった」が 3 人(8.9%)、「かなり規則正しくなった」が 0 人(0%)となった(表 4)。

『2-5. 体重は、外出自粛前に比べてどうなりましたか。』に対する回答は、「かなり減った」が 2 人(4.5%)、「やや減った」が 6 人(13.3%)、「変わらない」が 17 人(42.2%)、「やや増えた」が 15 人(33.3%)、「かなり増えた」が 3 人(6.7%)となった(表 5)。

<表1. 2-1の結果>

項目	度数
1. 2時間未満	0(0%)
2. 2時間以上3時間未満	5(11.4%)
3. 3時間以上4時間未満	11(27.3%)
4. 4時間以上5時間未満	6(15.9%)
5. 5時間以上	20(45.5%)
合計	42(100%)

<表2. 2-2の結果>

項目	度数
1. 2時間未満	32(77.3%)
2. 2時間以上3時間未満	0(0%)
3. 3時間以上4時間未満	3(6.8%)
4. 4時間以上5時間未満	4(9.1%)
5. 5時間以上	3(6.8%)
合計	42(100%)
平均/SD	1.71/1.33

<表3. 2-3の結果>

項目	度数
1. ほぼしていない	9(20%)
2. おおよそ週1~2日	14(33.3%)
3. おおよそ週3~4日	15(33.3%)
4. おおよそ週5~6日	3(6.7%)
5. ほぼ毎日している	2(6.7%)
合計	43 (100%)

<表4. 2-4の結果>

項目	度数
1. かなり不規則になった	12(26.7%)
2. やや不規則になった	20(46.7%)
3. 変わらない	8(17.8%)
4. やや規則正しくなった	3(8.9%)
5. かなり規則正しくなった	0(0%)
合計	43(100%)

<表5. 2-5の結果>

項目	度数
1. かなり減った	2(4.5%)
2. やや減った	6(13.3%)
3. 変わらない	17(42.2%)
4. やや増えた	15(33.3%)
5. かなり増えた	3(6.7%)
合計	43(100%)

『4-1. 日本で感染拡大が報道され始めた時期（2020年2月頃）から緊急事態宣言が全国で解除された時期（5月25日）までの生活を想起してください。その時期、あなたが「不安を感じる程度」は、それ以前と比べて、どうなりましたか。』に対する回答は、「かなり弱まった」が3人(6.7%)、「少し弱まった」が4人(8.9%)、「変わらない」が6人(13.3%)、「少し強まった」が20人(46.7%)、「かなり強まった」が10人(24.4%)となった。また平均は3.70、SDは1.13となった(表6)。

『4-3. 緊急事態宣言が全国で解除された時期（5月25日）から現在までの生活において、あなたが「不安を感じる程度」は、それまでと比べて、どうなりましたか。』に対する回答は、「かなり弱まった」が4人(8.9%)、「少し弱まった」が21人(51.1%)、「変わらない」が15人(33.3%)、「少し強まった」が3人(3%)、「かなり強まった」が0人(0%)となった。また平均は2.40、SDは0.75となった(表7)。

<表6. 4-1の結果>

項目	度数
1.かなり弱まった	3(6.7%)
2.少し弱まった	4(8.9%)
3.変わらない	6(13.3%)
4.少し強まった	20(46.7%)
5.かなり強まった	10(24.4%)
合計	43(100%)
平均/SD	3.70/1.13

<表7. 4-3の結果>

項目	度数
1.かなり弱まった	4(8.9%)
2.少し弱まった	21(51.1%)
3.変わらない	15(33.3%)
4.少し強まった	3(3%)
5.かなり強まった	0(0%)
合計	43(100%)
平均/SD	2.40/0.75

『5-1. 日本で感染拡大が報道され始めた時期から現在までの間で、あなたが「自粛をしている程度」は、ニュース・周りの意見を参考にすると、自分ではどの程度だと思いますか。』に対する回答は、「外出自粛をしていない方だと思う」が9人(22.2%)、「どちらかといえば外出自粛をしていない方だと思う」が8人(17.8%)、「どちらかといえば外出自粛をしている」が13人(28.9%)、「外出自粛をしている方だと思う」が13人(31.1%)となった。また平均は2.70、SDは1.11となった(表8)。

<表8. 5-1の結果>

項目	度数
1.外出自粛をしていない方だと思う	9(22.2%)
2.どちらかといえば外出自粛をしていない方だと思う	8(17.8%)
3.どちらかといえば外出自粛をしている	13(28.9%)
4.外出自粛をしている方だと思う	13(31.1%)
合計	43(100%)
平均/SD	2.70/1.11

自由記述以外(3-1,3-2,4-2,4-4,5-2)の質問についての相関を調べたところ以下の結果となった。「2-1 パソコン・タブレット・スマホの使用時間」と「2-2 パソコン・タブレット・スマホを用いたゲームの使用時間」は $r=0.46<0.5$ と正の相関が見られた。また、「2-4 生活リズムは自粛前と比べてどうなったか」と「4-1 日本で感染拡大が報道され始めた時期の不安の程度」は $r=0.3<0.1$ となったので、弱い正の相関が見られた。さらに、「2-1 パソコン・タブレット・スマホの使用時間」と「2-3 週に何回メイクをしているか」は $r= - 0.34<0.1$ と負の相関があるといえた。また、「2-2 パソコン・タブレット・スマホを用いたゲームの使用時間」と「2-3 週に何回メイクをしているか」も $r= - 0.39<0.5$ と弱い負の相関が見られた(表 9)。

<表9 各設問についての相関係数>

	問2-1	問2-2	問2-3	問2-4	問2-5	問4-1	問4-3	問5-1
問2-1	1							
問2-2	0.46**	1						
問2-3	-0.34*	-0.39**	1					
問2-4	-0.02	-0.07	0.06	1				
問2-5	-0.11	0.05	0.20	-0.16	1			
問4-1	-0.03	-0.05	0.07	0.30*	-0.08	1		
問4-3	0.07	0.18	-0.27	0.01	-0.24	0.14	1	
問5-1	-0.06	0.05	0.05	-0.03	0.21	0.15	0.06	1

**p<0.5,*p<0.1

また、「4-1. 5月25日までの不安の程度」と「4-3. 5月25日から今までの不安の程度」に対する T 検定を行い有意水準を算出したところ、結果は $T=6.66(df=42,p<0.5)$ となった。よって、「4-1. 5月25日までの不安の程度」と「4-3. 5月25日から今までの不安の程度」の結果には有意な差があるといえた。つまり、緊急事態宣言が解除された時期よりも、日本で感染拡大が報道された時期から緊急事態宣言が解除されるまでの時期の不安度の方が高いといえた。

さらに、自由記述の項目(3-1,3-2,4-2,4-4,5-2)については KJ 法を用いて、回答を纏めた。以下がその結果である。

○「3-1. 外出自粛生活において、つらかった(つらい)こと、困った(困っている)ことを教えてください」については、「人・バイト・イベント・マスク・外出・就活・大学・健康」の8分野に分類することが出来た。「人」と「外出」に分類出来る回答が多かった。その中でも、「人」のカテゴリーでは「友達と会えない」と回答した人が7人と1番多く、「友達と気軽に遊べない」と回答した人が4人と2番目に多かった。また、「外出」のカテゴリーでは「外に出ることが出来ない」と回答した人が8人と1番多く、「遊びに行けない」と

回答した人が3人と2番目に多かった。(表10)。

<表10 「3-1. 自粛生活において辛かったこと・困ったこと」について>

カテゴリー	内容	カテゴリー	内容
人	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と気軽に遊べない(1,2,23,43) ・友達と会えない(6,9,16,18,26,37,41) ・会いたい人に会えない(4,11,29) ・授業のことを友達と共有できない(20) ・人と会えない(10,27) ・おばあちゃんに会えない(9) 	外出	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出れない(11,14,18,19,20,24,39,43) ・生活必需品を買いに行くのもためらう(10) ・外食出来ない(6,37) ・遊びに行けない(9,23,32) ・家にずっと居なければいけない(22) ・サークル活動に行けない(12)
バイト	<ul style="list-style-type: none"> ・バイトのシフトが減った(5) ・バイト先での電話対応が増えた(14) ・バイトが出来なくて給料が減った(9,17) 	就活	<ul style="list-style-type: none"> ・就活のやる気が無くなった(33) ・就活状況がだいぶ変わった(31) ・就活が円滑に進まない(26)
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントが全て中止となった(7) ・好きなアーティストのライブが無くなった(21) ・コンサートに行けなくなった(12) 	大学	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生生活がスタートしていないように思う(40) ・先生に直接質問出来ない(42) ・授業がオンラインの為、機械操作に困った(28)
マスク	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクが手に入らない(3) ・マスクが暑い(12) ・苦しいのにマスクを付けなといけない(18) 	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが崩れて精神、肉体的に不安定(13,35) ・運動不足で不健康になった(20) ・手洗い・消毒をやりすぎて手が荒れる(14)

○「3-2. 外出自粛生活において、よかったこと、楽しみなこと、新たに始めたこと、今後に生かせそうなこと、工夫などを教えてください」については、「家事全般・娯楽・健康・学び・コミュニケーション・その他」の6分野に分類することが出来た。1番多かった回答は、「家事全般」に分類された「料理をしていた」と回答した5人と、「資格の勉強をする」と回答した5人であった。さらに、「健康」に分類された「身体を休める」と回答した4人が2番目に多かった(表11)。

<表11 「3-2. 自粛生活において良かったこと・新たに始めたこと・今後に生かせそうなことなど」について>

カテゴリー	内容	カテゴリー	内容
家事全般	<ul style="list-style-type: none"> ・片付け・掃除が出来た(2,6,10) ・家事ができた(6,18) ・料理が出来た(2,6,16,26,30) ・お菓子作り(7) ・マスク作り(3) 	学び	<ul style="list-style-type: none"> ・資格の勉強(11,14,17,23,29) ・弓道の基礎知識を勉強(24) ・パソコンを使いこなす(41) ・ギターの練習をする(14)
		コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・家族団楽(20,31,36) ・リモートを通してコミュニケーションを取る(21,37,40)
娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を観る(9) ・ドラマを観る(13) ・アニメを観る(9,13) ・映画を観る(37) ・ゲームをする(16,34) ・読書をする(5,37) 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・貯金(4,28,39) ・自分の時間が取れた(11,20,35) ・満員電車で乗らなくて済んだ(12,20) ・バイトが沢山出来た(38) ・特になし(19,43)
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・食事管理をする(42) ・身体を休める(10,22,27,33) ・筋トレをする(8,18,30) 		

○「4-2. 4-1 の回答（日本で感染拡大が報道され始めてから、緊急事態宣言が全国で解除されるまでの生活で「不安を感じる程度）」について、その時の感じ方・過ごし方を教えてください」については、大きく「不安が強い」と「不安が弱い」の2つに分類することが出来た。さらに、それぞれを「過ごし方」と「感じ方」の2つに分類することが出来た。また、「不安が強い」の「感じ方」は、「感染」と「日常生活」の2つに分類することが出来、「過ごし方」は、「予防」と「その他」の2つに分類することが出来た。「不安が強い」と回答した人の方が多く、その中でも「外に出ることが怖いので外出しない」と回答した人が多かった(表 12)。

<表12 「4-2. 日本で感染拡大が報道され始めた時期の感じ方・過ごし方」について>

カテゴリー		内容	
不安が強い	感じ方	感染	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日感染者が報道されていて怖かった(1) ・感染したらどうしようと不安だった(4,9,23) ・少し熱や咳が出るとかなり不安になった(3) ・バイト先のお客さんが増えて不安だった(12,13,41)
		日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言がいつ出るのか不安だった(12) ・いつ日常が戻るのか不安だった(2,39) ・就活が思うように進まなくなったことに不安を感じた(24)
	過ごし方	予防	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいをした(4,6,8,27,31,35) ・除菌作業をする(4,8,16,27) ・マスクを着用する(6,27) ・外に出ることが怖いので外出しない(6,7,9,10,11,12,16,18,21,23,26,28,34,35,36)
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・寝逃げした(22,29)
不安が弱い	感じ方	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲で感染した人が居ないから(5) ・不便だが、それなりの生活は出来ているから(42) ・予防をしている為、自分が感染することを予測していないから(43) 	
	過ごし方	<ul style="list-style-type: none"> ・安心はしていないが外出することはあった(3) 	

○「4-4. 4-3 の回答（緊急事態宣言が全国で解除された時期から現在までの生活で「不安を感じる程度）」について、その時の感じ方・過ごし方を教えてください」については、4-4と同じく、大きく「不安が強い」と「不安が弱い」の2つに分類することが出来た。さらに、それぞれを「過ごし方」と「感じ方」の2つに分類することが出来た。また、「不安が強い」の「感じ方」は、「感染」と「日常生活」の2つに分類することが出来、「過ごし方」は、「予防」と「その他」の2つに分類することが出来た(表 13)。

<表13 「4-4. 緊急事態宣言が解除された時期の感じ方・過ごし方」について>

カテゴリー		内容
不安が強い	感じ方	<ul style="list-style-type: none"> ・第2波が怖い ・外出している人が多くなり、気の緩みを感じる ・まだ外に出るのは不安 ・マスクを着用していない人を見ると不安を感じる ・ワクチンや特効薬が無いので不安 ・マスコミの不安を煽るような報道など、情報が多すぎて憂鬱
	過ごし方	予防 <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール消毒はしっかりする ・手洗い、うがいはしっかりする ・マスクを着用する ・家に居るようにする
		その他
不安が弱い	感じ方	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出ることへの抵抗が少なくなった ・皆が外に出始めているから ・就活が安定してきたから
	過ごし方	<ul style="list-style-type: none"> ・バイトなど理由があるときは出かける

○「5-2. 5-1 と回答した理由について、どのように過ごしていたか（過ごしているか）を教えてください」については、大きく「外出していない」と「外出している」の2つに分類することが出来た。また「外出していない」は、「電子機器」と「その他」の2つに分類することが出来た。「外出していない」と回答した人の中では、「ゲームをする」、「読書をする」といった回答の割合が一番多く、「外出している」と回答した人の中では、「アルバイト」といった回答の割合が一番多かった(表14)。

<表14 「5-2. 自粛している程度を回答した理由について」>

カテゴリー	内容	カテゴリー	内容
外出していない	電子機器 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをする(2,11,12,13) ・Youtubeを観る(2) ・テレビ鑑賞(12) ・動画を観る(13,43) ・映画を観る(21) ・スマホ(23) ・電話をする(28) 	外出している	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト(3,4,6,9,14,19,27,31,34,35,39,42) ・買い物(8,9,10,14,24,29) ・病院(5) ・就活関連(31) ・必要な時だけ(7,17,22,26) ・地元のスーパーのみ(35) ・外食をする(32)
	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・読書をする(12,13,41) ・掃除をする(11) ・筋トレをする(28) ・寝る(43) 		

[考 察]

今回の目的は、新型コロナウイルス拡大によって遠隔授業になるなどの状況下において、本学の大学生の過ごし方について調査し、まとめ、公表することで、大学生自身が現状を客観的に捉えること。また web アンケートの使い方や、アンケートの回答のまとめ方について、卒論の為にも習得しておくことの 2 点であった。

<電子機器の利用について>

初めに、パソコン・タブレット・スマホの使用について見てみると、使用時間は 5 時間以上という回答が全体の 45.5%と一番多かった。しかし、パソコン・タブレット・スマートフォンを用いたゲームの使用時間は 2 時間未満が全体の 77.3%と一番多いという結果となった。つまり、パソコン・タブレット・スマホを使用しているが、ゲームを長時間しているという女子大学生は少ないのではないのかと考えた。他の調査において、ゲームの平均利用時間は 10 代男性が 134 分、10 代女性が 121 分、20 代男性が 110 分、20 代女性が 115 分という結果が出ているⁱ。このことから分かる通り、女性のゲームの利用時間は男性よりも短く、2 時間程度であることが分かった。

<自粛生活中的生活について>

「2-5. 体重は、外出自粛前に比べてどうなったか。」について、「増えた」と回答した人が 40.0%と「減った」と回答した 17.3%よりも多かった。この結果については、2-4 で調査した自粛生活中的生活リズムが関わっていると考えられたが、この 2 つの結果に相関は無かった。これについては、自粛生活中的生活リズムについて詳しい内訳を追加で調査すると結果が変わってくると考える。次に、「3-2. 自粛生活中に良かったこと・楽しみなこと・新たに始めたことなど」について見てみる。この質問に対して 43 人中「特になし」が 2 人居たが、その他の 41 人はそれぞれ行っていた事を記述していた。この結果については、若い人特有の回答であると考えられる。SNS からお菓子のレシピを見つけて実践してみたり、筋トレの動画を観ながら筋トレをしてみたりと比較的、時間と情報源がある若い人たちだからこその結果だといえる。内閣府が 10 代から 70 代以上までの「新しいことへのチャレンジ」について調査したところ、「何らかの挑戦・取り組みをした」と回答した 10 代の割合が 70.3%、20 代の割合が 67.1%と全体の割合の 1 位・2 位を占めていたⁱⁱ。また、「5-1. 日本で感染拡大が報道された時期から現在までの間で、自粛している程度はどの程度か」については、「外出自粛をしていない方だと思う」と回答した人が 40.0%、「外出自粛をしている」と回答した人が 60.0%であった。しかし、「4-2. 日本で感染拡大が報道された時期から、緊急事態が解除された時期までの感じ方・過ごし方」についての回答の結果を見ると、「外出することがあった」と回答した人は 1 人であった。この結果については「5-1. 日本で感染拡大が報道された時期」では無く、「現在まで（緊急事態宣言が解除されている）」の方に回答する側が、重きを置いた可能性があると考えられる。実際に「5-2. 自粛している程度を回答した理由」についての結果を見ると、26 人が「外出をしている」に分類される回答を

していた。

<相関について>

「2-4 生活リズムは自粛前と比べてどうなったか」と「4-1 日本で感染拡大が報道され始めた時期の不安の程度」に正の相関が見られた。この結果については、不安の程度が高くなる程、外出する機会が減り予定も減る為、外出自粛前に比べて、生活リズムが不規則になるのではないのかと考えた。また「2-1 パソコン・タブレット・スマホの使用時間」と「2-3 週に何回メイクをしているか」、「2-2 パソコン・タブレット・スマホを用いたゲームの使用時間」と「2-3 週に何回メイクをしているか」には負の相関が見られた。この結果については、電子機器の使用とメイクの回数、電子機器を使用したゲームの利用とメイクの回数に負の相関が見られた正確な理由を考えることが出来ない。よって今後、この 2 つに負の相関が見られた理由を調査する必要があると考えられる。

<全体の考察・改善点>

今回の調査で、女子大学生の自粛生活中的の生活状況を知ることが出来た。不安の感じ方や自粛の程度から、緊急事態宣言が解除されるまでは新型コロナウイルスに対して危機感があったということが分かった。しかし、「4-1. 緊急事態宣言が解除された時期の不安の程度」と「4-3. 緊急事態宣言が解除されてから現在までの時期の不安の程度」で有意な差が見られたり、外出している分類される回答数が多くなっていた結果から、現在では少し危機感が薄まっていると分かった。この調査を行った 6 月 10 日～6 月 17 日から現在(7 月下旬)の約 1 か月半の間でも感染者が増え、自粛解禁モードから自粛生活をしなければならないという状況に変化した。つまり、割と短いスパンで同じ調査を行っても、結果が変わってくると考えられる。

2 つ目の「web アンケートの使い方や、アンケートの回答のまとめ方について、卒論の為にも習得しておくという」目的については、web アンケートの使い方や回答のまとめ方の基礎は身に付けることが出来たと考えられる。今回調査の改善点にも繋がるのだが、質問の項目によって（特に記述）回答数が変わっており、分析する時に戸惑った。よって、卒論等でアンケートを行う際は、なるべく回答者が回答しやすい形式を使い、全ての質問に回答し貰えるような機能や技術も用いて実施しようと考えた。

ⁱ TesTee Lab (<https://lab.testee.co/video-game> 2020.7.20)

ⁱⁱ 内閣府 政策統括官（経済社会システム担当）(<https://www5.cao.go.jp.pdf> 2020.7.22)